



Marubeni
Itochu
Sumisho
Techno Steel Inc.

FABB-DECK

ファブデッキ

建物の性能と作業効率の向上を実現したシステム床版

一方向床版

日本建築センター 一般評定番号(BCJ評定)RC0279

二方向床版

日本建築センター 一般評定番号(BCJ評定)RC0280

伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社

FABB-DECK

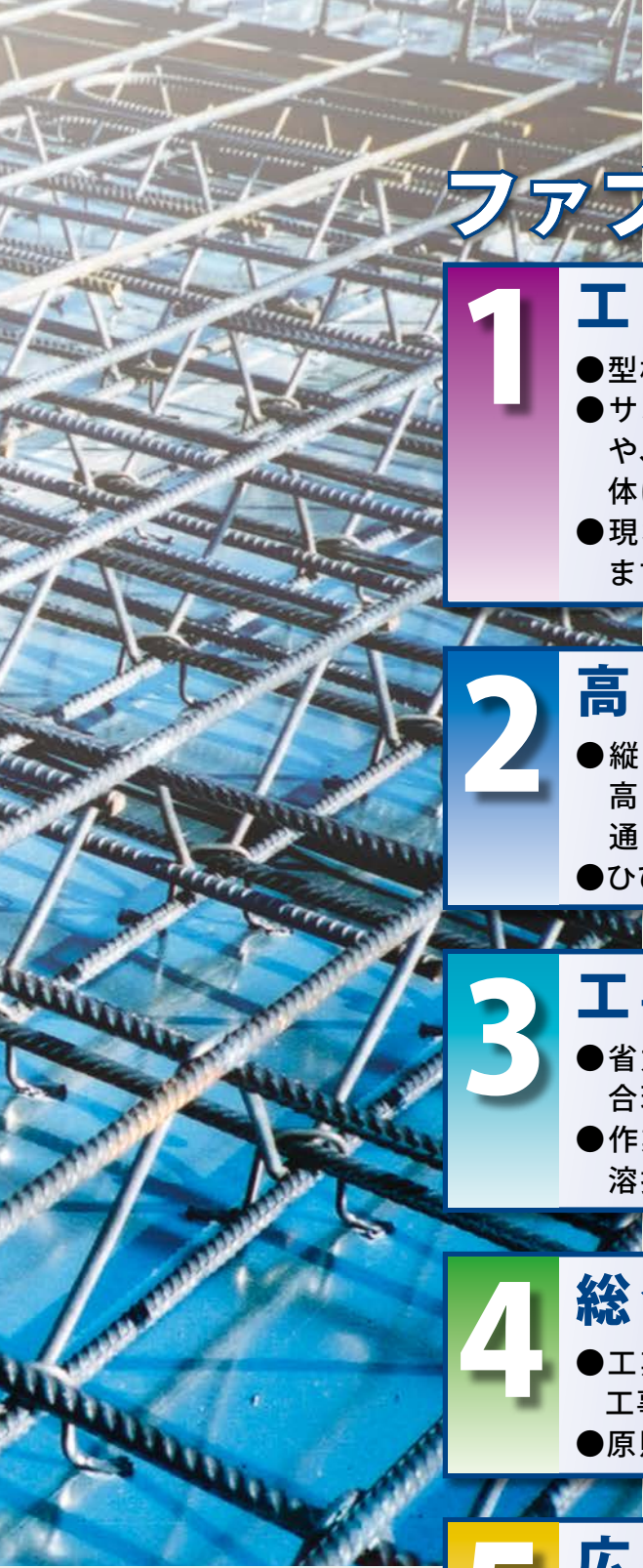
建物の性能と作業効率の向上を実現したシステム床版



ファブデッキ床版は、科学技術振興事業団（新技術開発事業団）の委託を受けて、1983年に伊藤忠が開発した、建築物の性能と施工のニーズにお応えするシステム技術です。

ファブデッキ工法（Form And Bar Block Fabricated Building Deck）とは、床用の鉄筋と捨型枠を一体化したファブデッキ床版（捨型枠付版状立体溶接鉄筋）を現場で敷き込むことにより、型枠工事と鉄筋工事が同時にでき、作業や管理が簡略化できる画期的な床版です。

さらに、地震力をしっかり受け止める“剛床”となるため、より安全性が向上し、木製型枠を使用しない、環境に優しいオリジナル商品です。



ファブデッキの特長

1

工期の短縮

- 型枠工事と鉄筋工事が同時に施工できます。
- サポートは原則不要。複数階の同時施工、上階の先行施工や、他工種の同時施工ができ、コンクリート打設後の型枠解体はありません。
- 現場での工数が少なく単純作業で済み、短期間で仕上がります。(5人1組で1日200~300㎡)

2

高い施工精度

- 縦筋、横筋の各交点で溶接されており、配筋精度が極めて高く、コンクリート打設まで乱れることはありません。設計通りのスラブ性能が確保できます。
- ひび割れ低減、振動、遮音等にも優れた効果を発揮します。

3

工事管理の合理化

- 省力、プレハブ化、工事量の軽減、施工偏差の解消等工事が合理化され、品質・安全管理が簡略化されます。
- 作業性が良く安全です。ファブ鉄筋は格子状に極めて堅固に溶接組立されており、作業床、安全床として利用できます。

4

総合的なコストダウン

- 工期の短縮、全体工事量の軽減、現場経費の軽減等により工事費の低減が図れます。
- 原則サポート無しで仮設費が軽減されます。

5

広い用途

- S造・SRC造・RC造・PCa/PC造の厚さ120mm以上の一般構造床に使用できます。
- ユニット工法、SRC造の先行敷込み等にも適しています。
- 既設計案件もファブデッキに転換できます。

6

高品質な工業化製品

- 自動製造装置により安定した高品質の製品が製造されています。
- 検査装置により品質管理がされています。

製品仕様

用途／適用範囲／製品・設計タイプ／製品使用材料

用 途

- S 造 ● RC 造 ● SRC 造 ● PCa・PC 造等の現場打ちコンクリートスラブ
(工場、倉庫、病院、学校、研究施設等)

適 用 範 囲

- スラブ厚さ = 120 mm ~ 210 mm 程度 (トラス高さ : 80 mm ~ 125 mm)
● コンクリート下かぶり厚さ = 20 mm 以上 〈注①〉
● コンクリート = 普通コンクリート、軽量一種コンクリート : $F_c \geq 18 \text{ N/mm}^2$ (180Kgf/cm²)

〈注①〉 トラス高さ等の仕様により対応が出来ない場合があります。

製 品 ・ 設 計 タイ プ

タイプ	配 筋	縦筋 (主筋)		横筋 (配力筋)	
		上 端	下 端	上 端	下 端
P 型 (従来型)	80	二方向	D10 @ 150	D10 @ 150	D10 @ 200
	95		D10 @ 150	D10 @ 150	D10 @ 200
	110		D10 @ 150	D10 @ 150	D10 @ 200
N 型 (新型)	125	一方向	D10 @ 150	D10 @ 150	————
	90	二方向	D13 @ 200	D13 @ 200	D10 @ 200
	100		D13 @ 200	D13 @ 200	D10 @ 200
	110		D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200
	120		D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200
	130	一方向	D13 @ 200	D13 @ 200	————
	140		D13 @ 200	D13 @ 200	————
	150		D13 @ 200	D13 @ 200	————
	160		D13 @ 200	D13 @ 200	————
	170		D13 @ 200	D13 @ 200	————
	180		D10 @ 200	D10 @ 200	————
	190		D10 @ 200	D10 @ 200	————
	200		D10 @ 200	D10 @ 200	————

※N型タイプの横筋D13@200は標準品はございません。ご採用頂く場合はご相談下さい。

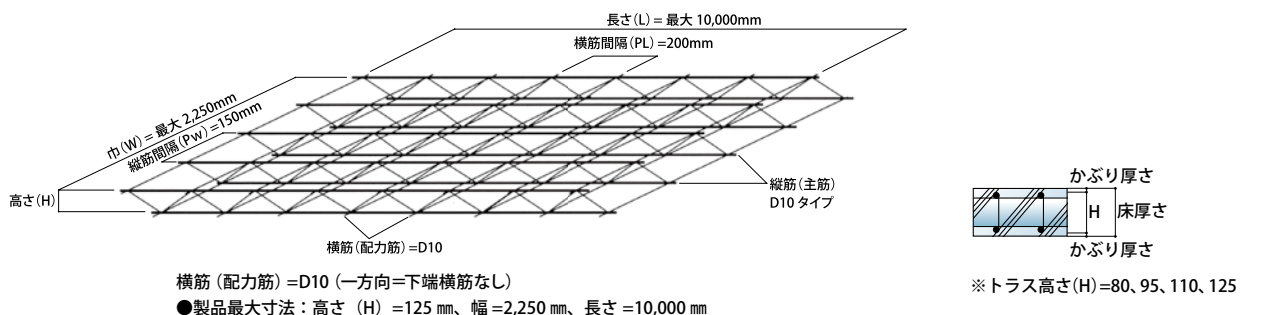
製 品 使 用 材 料

部位名	使用材料
鉄筋構成	縦 筋 (上端下端共) 横 筋 (上端下端共) ウェブ筋 (仮設材) JIS G 3112 SD295 径 D10、D13 JIS G 3112 SD295 径 D10 (D13) JIS G 3532 の鉄線 SWM-B 径 5 mm、径 6 mm、径 7 mm
型枠構成	銅板捨型枠 (仮設材) スペーサー (仮設材) 支 承 材 (仮設材) JIS G 3302 SGCC 溶融亜鉛メッキ銅板に準ずる (0.37 mm ~ 0.6 mm) 標準品は厚さ 0.4 mm Z12 とする JIS G 3532 の鉄線 SWM-B 径 4 mm 厚さ 4.0 ~ 4.5 mm の平鋼
鉄筋副資材	継 手 筋 補 足 筋 開口補強筋 JIS G 3112 SD295 径 D10、D13 JIS G 3112 SD295 径 D10、D13 JIS G 3112 SD295 径 D10、D13
溶接点強度	トラス接点 (縦筋・ウェブ筋交点) 縦横筋交点 スペーサー支持点 電気抵抗溶接 (1 種・スポット) 剪断強さ $\geq 100 \text{ N/mm}^2$ (ウェブ筋断面積に対し) " (1 種・スポット) 剪断強さ $\geq 100 \text{ N/mm}^2$ (横筋断面積に対し) " (1 種・スポット) 引張強さ $\geq 500 \text{ N/本}$

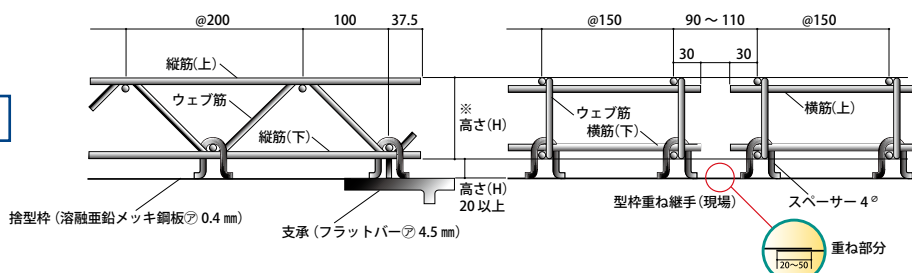
※仮設材については同等以上の耐久力を有するものを使用する場合があります。

P型（縦筋 @ 150）／二方向、一方向タイプ

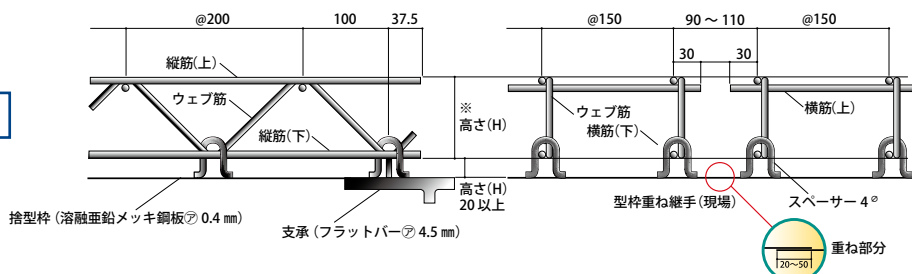
名称及び寸法



二方向タイプ



一方向タイプ(下端横筋なし)



製品規格

二方向

ファブデックタイプ	ウェブ筋	断面 2 次 モーメント Ix(cm ⁴ /m幅)	施工時最大 許容曲げ モーメント (KNcm/m幅)	施工時最大 許容せん 断力 (KN/m幅)
高さ (H)	縦筋 @150	横筋 @200		
80	D10	D10	5φ 99	572.4 8.3
			6φ 103	572.4 9.7
95	D10	D10	5φ 140	696.8 8.6
			6φ 144	696.8 10.6
110	D10	D10	6φ 204	821.3 15.0
125	D10	D10	6φ 245	945.7 15.1

※表の数値は実験値より算定しております。

一方向

ファブデックタイプ	ウェブ筋	断面 2 次 モーメント Ix(cm ⁴ /m幅)	施工時最大 許容曲げ モーメント (KNcm/m幅)	施工時最大 許容せん 断力 (KN/m幅)
高さ (H)	縦筋 @150	横筋 @200		
80	D10	D10	5φ 95	572.4 8.3
			6φ 99	572.4 8.7
95	D10	D10	5φ 137	679.9 8.6
			6φ 136	696.8 10.4
110	D10	D10	6φ 198	821.3 14.6
125	D10	D10	6φ 235	945.7 15.1

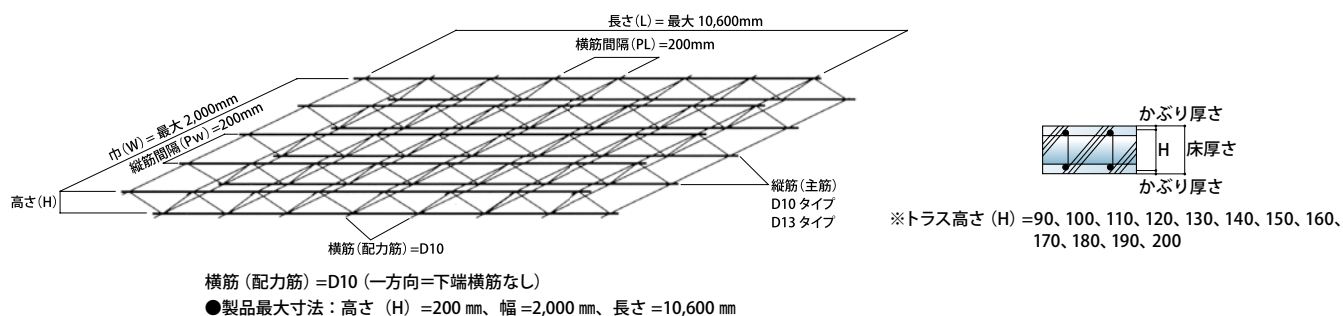
性能

配筋断面積表 (1m 幅あたり)

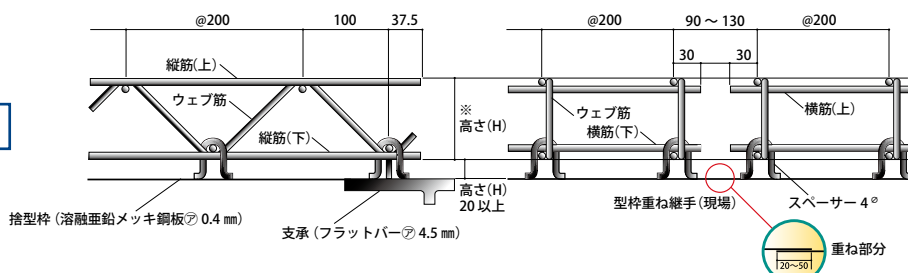
鉄筋径 (mm)	一本あたり断面積 (cm ²)	配筋間隔 (mm)	
		縦筋径 @150	横筋径 @200
D10	0.7133	4.76	3.57

N型（縦筋 @ 200）／二方向、一方向タイプ

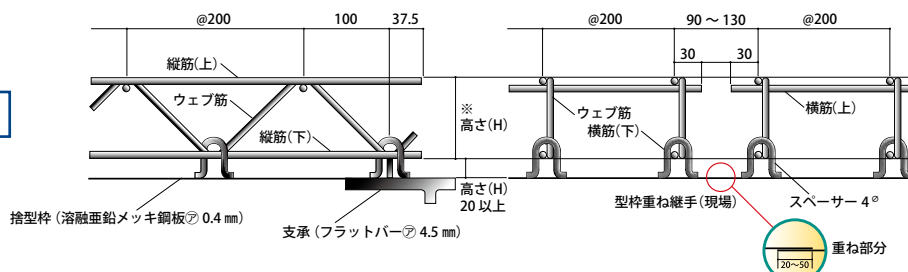
名称及び寸法



二方向タイプ



一方向タイプ(下端横筋なし)



性能

配筋断面積表 (1m 幅あたり)

鉄筋径 (mm)	一本あたり断面積 (cm ²)	配筋間隔 (mm)	
		縦筋径@200	横筋径@200
D10	0.71	3.57	3.57
D13	1.27	6.34	6.34

※N型タイプは製造拠点が限定されますので、ご採用頂く場合はご相談下さい。

製品規格

二方向

ファブデックタイプ			ウェブ筋	断面 2 次 モーメント I _x (cm ⁴ /m幅)	施工時最大 許容曲げ モーメント (KNcm/m幅)	施工時最大 許容せん 断力 (KN/m幅)
高さ (H)	縦筋 @200 上/下	横筋 @200 上/下				
90	D10 / D10	D10	6φ	80	491.5	8.0
			7φ	88	491.5	10.4
	D13 / D13	D10	6φ	133	840.1	11.1
			7φ	141	840.1	16.8
100	D10 / D10	D10	6φ	100	553.7	8.5
			7φ	112	553.7	10.1
	D13 / D13	D10	6φ	174	942.6	11.4
			7φ	178	950.7	17.6
110	D10 / D10	D10	6φ	121	616.0	9.2
			7φ	132	616.0	10.8
	D13 / D13	D10	6φ	203	917.9	11.6
			7φ	210	1,061.2	18.0
120	D10 / D10	D10	6φ	142	678.2	10.0
			7φ	152	678.2	11.5
	D13 / D13	D10	6φ	232	893.2	11.5
			7φ	242	1,171.8	18.2
130	D10 / D10	D10	6φ	155	710.6	10.1
			7φ	174	740.4	12.1
	D13 / D13	D10	6φ	254	856.2	11.3
			7φ	272	1,297.9	18.2
140	D10 / D10	D10	6φ	168	719.6	10.3
			7φ	197	802.6	12.7
	D13 / D13	D10	6φ	277	819.2	10.9
			7φ	303	1,320.8	17.9
150	D10 / D10	D10	7φ	209	864.8	13.1
	D13 / D13	D10		332	1,267.0	17.5
160	D10 / D10	D10	7φ	229	927.0	13.5
	D13 / D13	D10		362	1,213.2	16.9
170	D10 / D10	D10	7φ	229	973.4	14.0
	D13 / D13	D10		367	1,171.2	16.2
180	D10 / D10	D10	7φ	239	899.0	12.9
	D13 / D13	D10		396	1,127.6	15.4
190	D10 / D10	D10	7φ	243	874.7	12.5
	D13 / D13	D10		409	1,090.0	14.5
200	D10 / D10	D10	7φ	247	850.3	12.2
	D13 / D13	D10		422	1,052.4	13.6

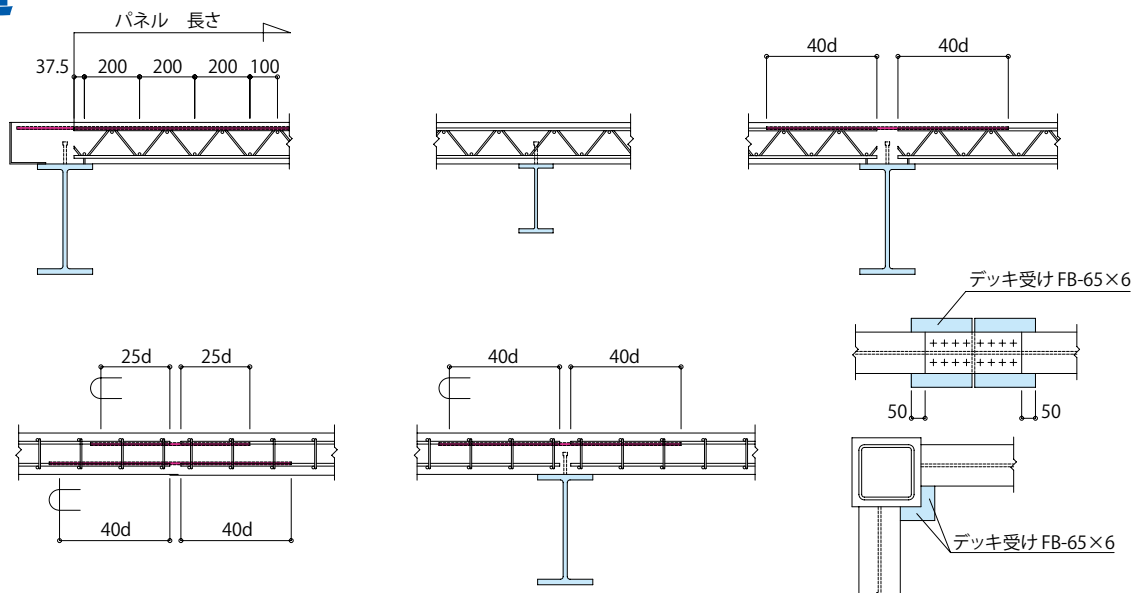
※表の数値は実験値より算定しております。

一方向

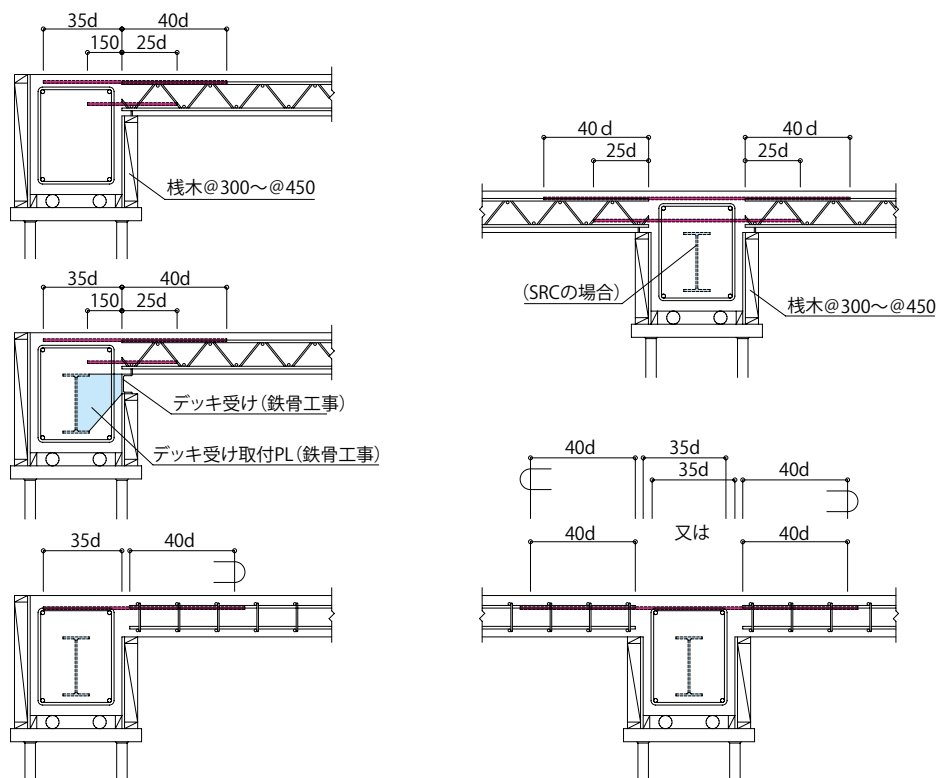
ファブデックタイプ			ウェブ筋	断面 2 次 モーメント I _x (cm ⁴ /m幅)	施工時最大 許容曲げ モーメント (KNcm/m幅)	施工時最大 許容せん 断力 (KN/m幅)
高さ (H)	縦筋 @200 上/下	横筋 @200 上				
90	D10 / D10	D10	6φ	77	491.5	7.7
			7φ	87	491.5	9.8
	D13 / D13	D10	6φ	123	840.1	11.1
			7φ	142	840.1	15.9
100	D10 / D10	D10	6φ	101	553.7	8.6
			7φ	110	553.7	9.6
	D13 / D13	D10	6φ	165	875.0	11.4
			7φ	171	950.7	17.6
110	D10 / D10	D10	6φ	110	608.8	8.7
			7φ	122	616.0	9.8
	D13 / D13	D10	6φ	187	835.4	11.6
			7φ	194	1,061.2	18.0
120	D10 / D10	D10	6φ	119	618.8	8.8
			7φ	134	678.2	10.0
	D13 / D13	D10	6φ	209	795.8	11.4
			7φ	218	1,171.8	18.2
130	D10 / D10	D10	6φ	128	633.7	9.0
			7φ	148	723.0	10.4
	D13 / D13	D10	6φ	233	780.9	11.2
			7φ	252	1,219.5	17.4
140	D10 / D10	D10	6φ	137	648.6	9.3
			7φ	162	747.5	10.7
	D13 / D13	D10	6φ	257	766.1	10.9
			7φ	286	1,269.0	17.9
150	D10 / D10	D10	7φ	185	801.3	11.5
	D13 / D13	D10		314	1,198.9	17.2
160	D10 / D10	D10	7φ	208	855.2	12.2
	D13 / D13	D10		343	1,128.9	16.2
170	D10 / D10	D10	7φ	228	931.6	13.3
	D13 / D13	D10		372	1,122.1	16.0
180	D10 / D10	D10	7φ	227	793.2	11.4
	D13 / D13	D10		388	1,116.7	15.4
190	D10 / D10	D10	7φ	227	784.9	11.2
	D13 / D13	D10		395	1,064.5	14.5
200	D10 / D10	D10	7φ	228	776.6	11.1
	D13 / D13	D10		403	1,012.2	13.6

ファブデッキ標準納り図（二方向）

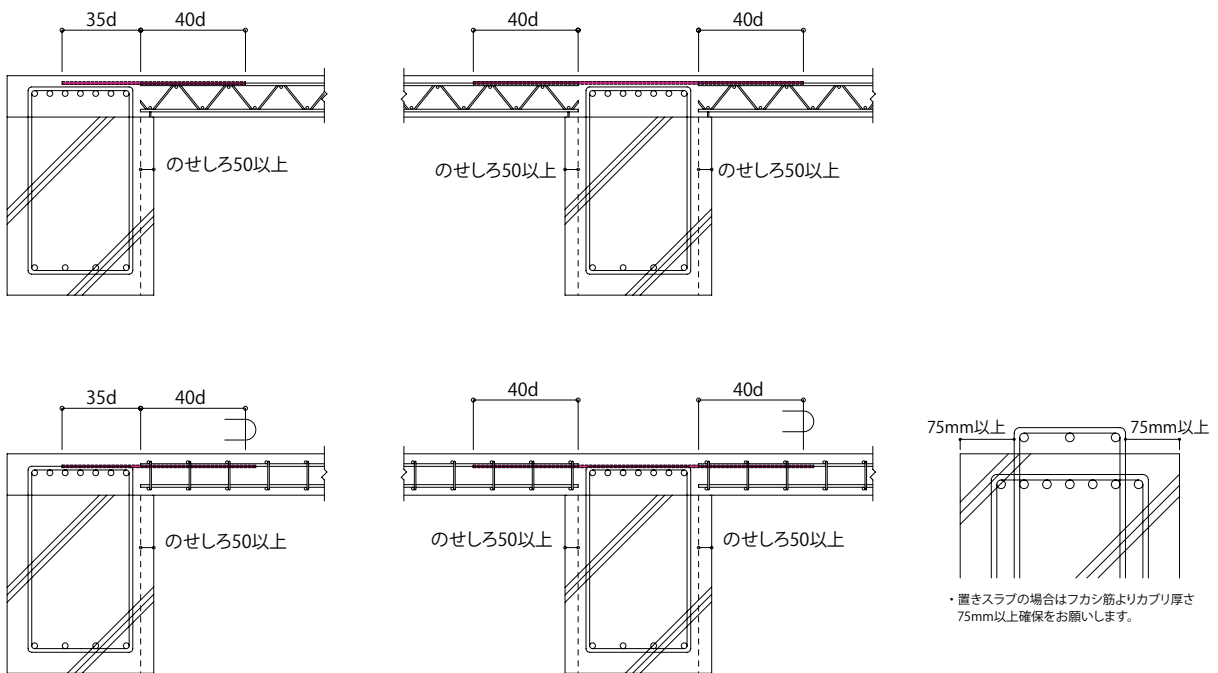
S造



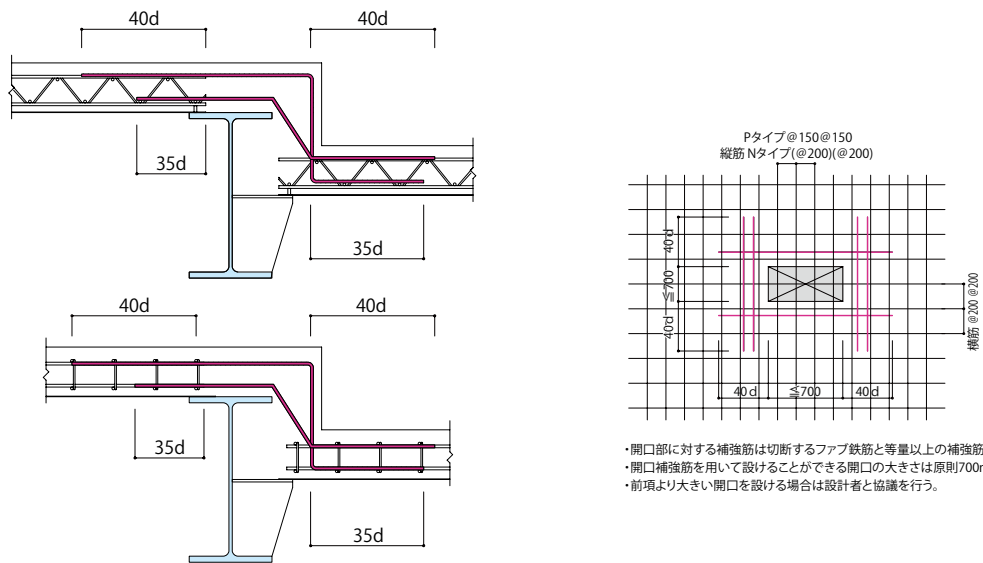
RC・SRC造



PCa・PC・置スラブ造



スラブ段差・開口補強



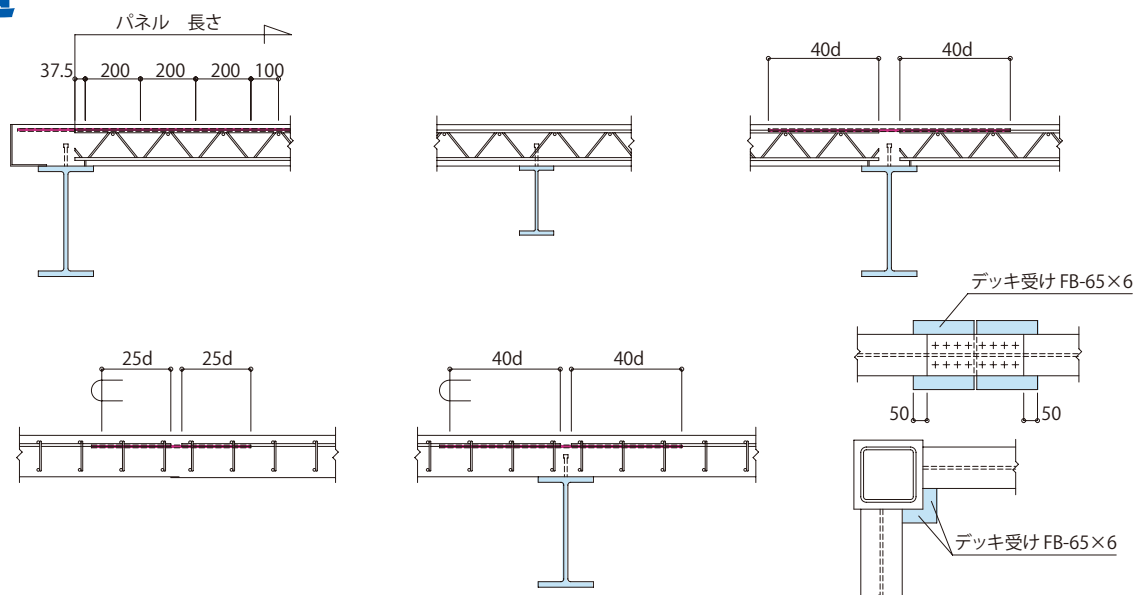
- ・段差配筋納まりについては設計者と協議を行う。

FABB-DECK

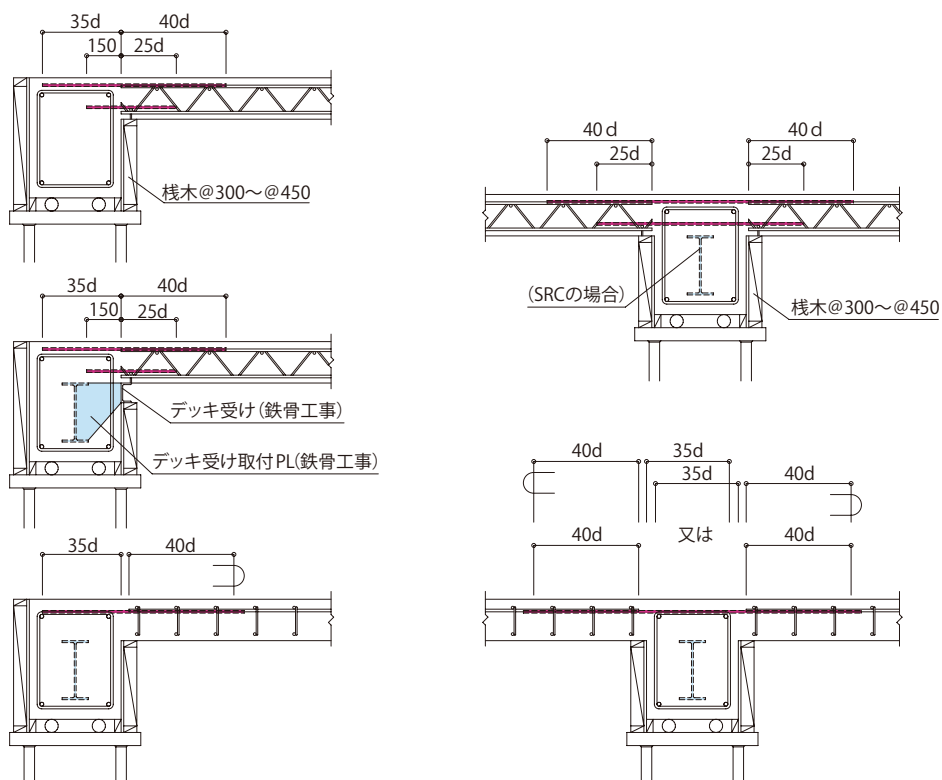
ファブデッキ

ファブデッキ標準納り図（一方向）

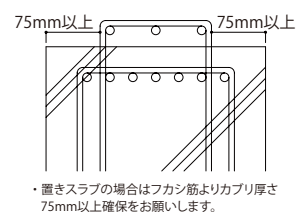
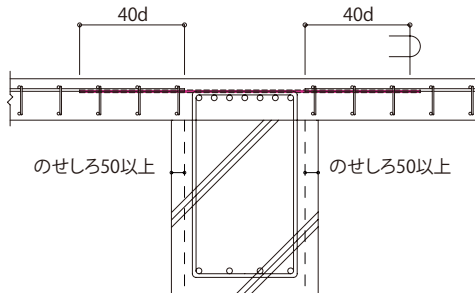
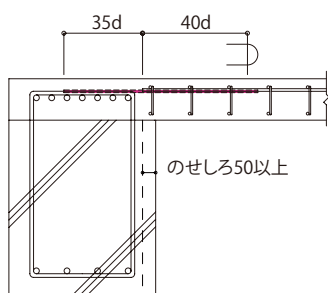
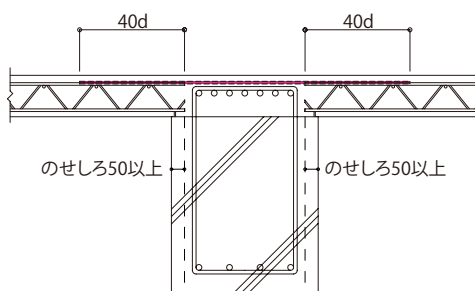
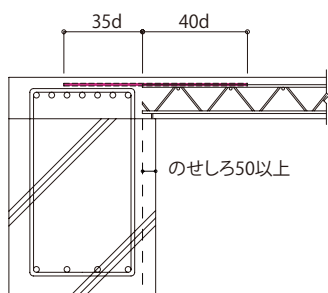
S造



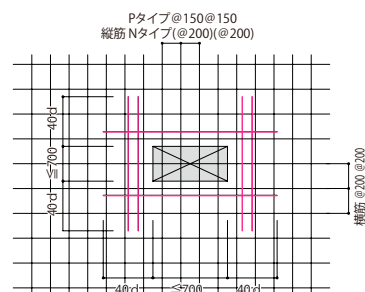
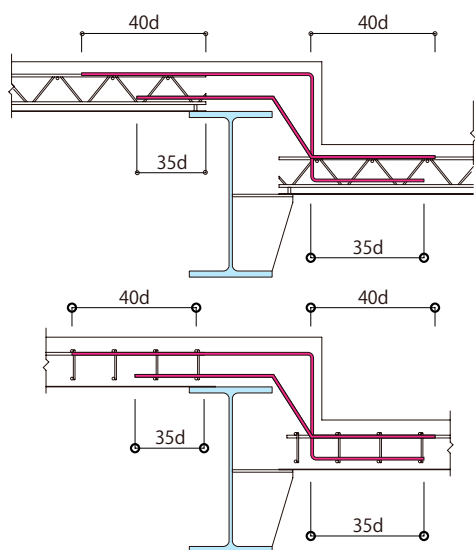
RC・SRC造



PCa・PC・置スラブ造



スラブ段差・開口補強



- ・開口部に対する補強筋は切断するフアブ鉄筋と等量以上の補強筋とする。
- ・開口補強筋を用いて設けることができる開口の大きさは原則700mm角以内とする。
- ・前項より大きい開口を設ける場合は設計者と協議を行う。

施工順序

START

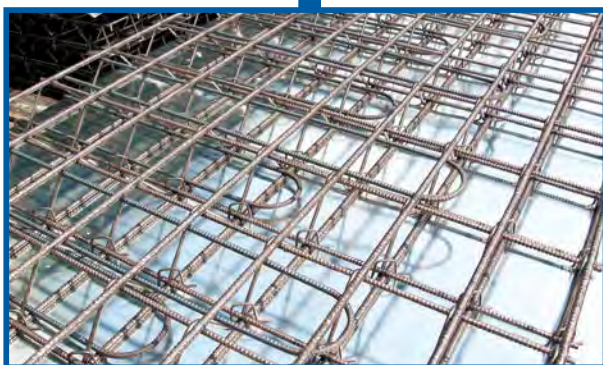
自動製造装置



製品完成



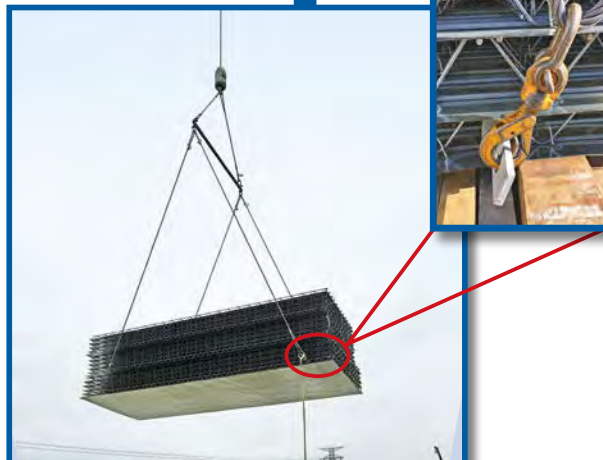
継手筋仕込



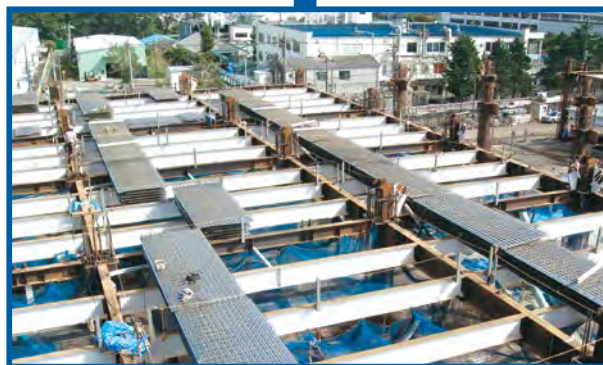
出荷・搬入



荷上



仮置



ユニット荷上げ



敷込み



継手筋配筋



コンクリート打設



ファブデッキ裏面仕上がり



工程フロー

①工程、作業手順打ち合わせ

②ファブパネル割付施工図作成

▶ファブデッキ工法設計規準による

③搬入計画およびパネル製造

▶製品検査

▶パネル積荷順および日程の調整

④ファブパネル及び継手筋の搬入

▶建物内直接搬入または仮置後、梁上に揚重
(ユニット工法、地組ヤードにてユニット組立)

⑤パネル敷込み

▶割付図に従って敷込み

▶パネルの加工(柱回り、スプライスプレート部)

▶定着継手筋、およびスペーサー(フラットバー)セット

⑥コンクリート流れ止め(別途)

⑦ダメ回り、補修、点検

⑧スタッド打ち(別途)

⑨設備関係配管および インサートの取付(別途)

⑩開口部等の補強(別途)

⑪検査・手直し

⑫配筋・型枠工事完了

⑬コンクリート打設(別途)

※お願い：コンクリートのノロ(汁)が多少でするので、コンクリート打設時に水洗い(ジェットの噴射等)をご検討下さい。
※スペーサー溶接位置等に多少の錆が発生することがあります。
※スタッド打ちは定着継手筋施工後をお願いします。

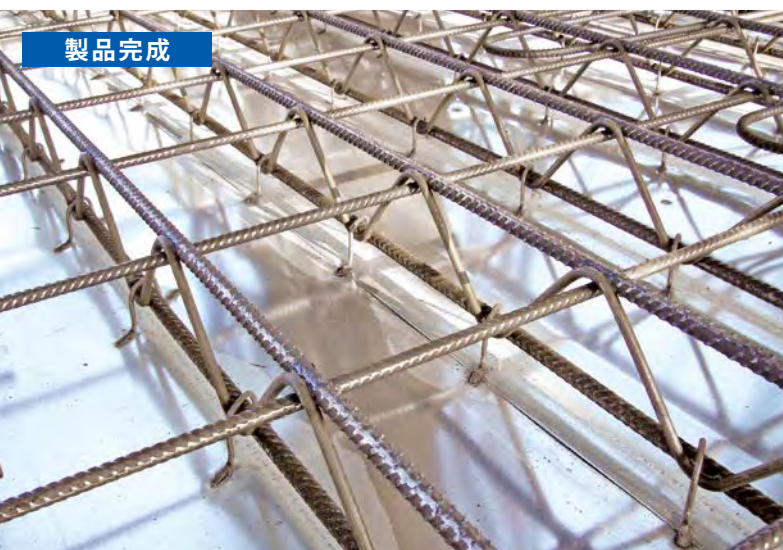
FABB-DECK

ファブデッキ

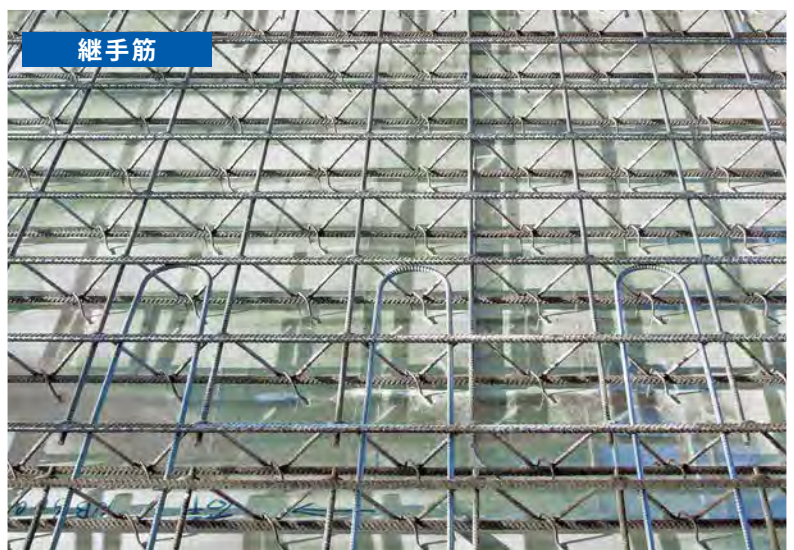
敷込み①



製品完成



継手筋



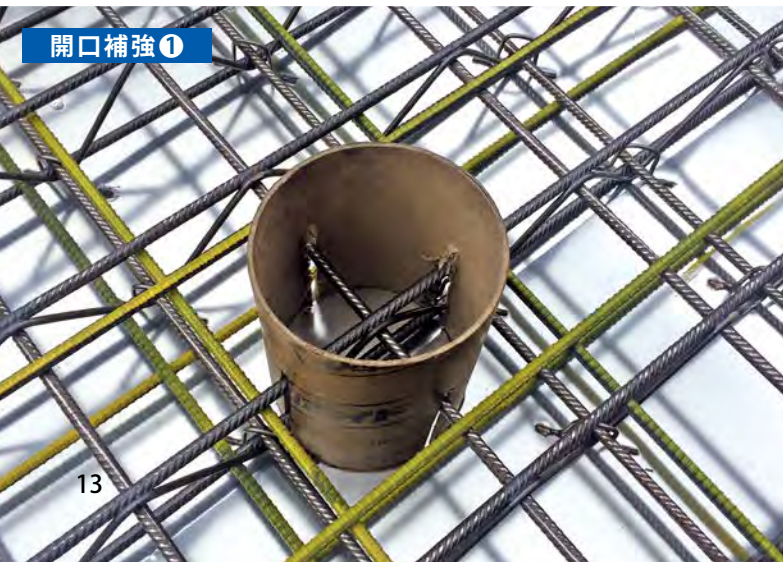
地組



地組荷上げ



開口補強①



開口補強②

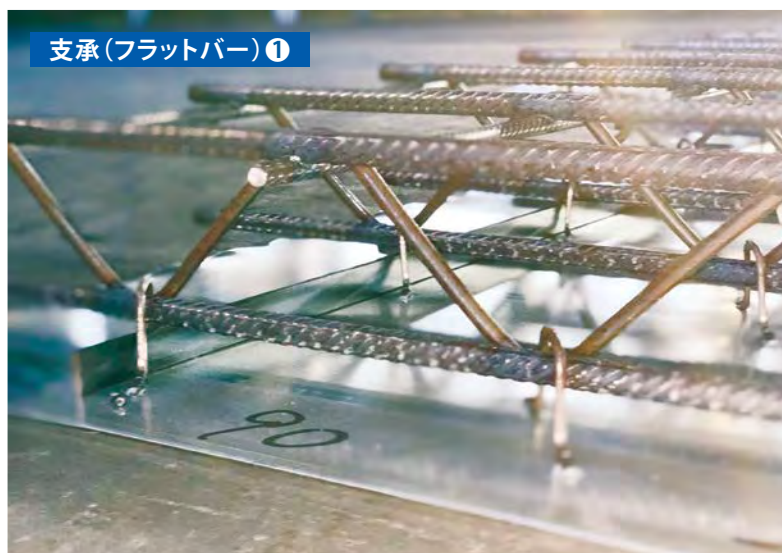




敷込み②



支承(フラットバー)①



支承(フラットバー)②



施工・仕上げ①



施工・仕上げ②



ファブデッキ裏面仕上がり①



ファブデッキ裏面仕上がり②



ファブデッキ裏面仕上がり③



FABB-DECK

ファブデッキ

一方向床版評定書

本工法は、伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社による一方向トラス構成の組立鉄筋に、自動溶接された上端格子状一重配筋を構成するファブ鉄筋と亜鉛メッキ鋼板の型枠からなる配筋・型枠一体製造施工工法(以下、ファブデッキ工法という)の設計、製造および施工に関する一般評定である。

タイプ (単位)	縦筋@150タイプ (P型)	縦筋@200タイプ (N型)
縦筋間隔 Pw(mm)	150	200
横筋間隔 PL(mm)	200	200
トラス高さ H (mm)	80、95、110、125	90、100、110、120、130、140、150、160、170、180、190、200
長さ L (mm)	最大10,000	最大10,600
幅 W (mm)	最大2,250	最大2,000

評 定 書 (工法等)

申込者 伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社 代表取締役社長 田中 康博 様

件 名 ファブデッキ工法(一方向床版)

令和7年3月24日付けで評定の申し込みのあった本件については、下記のとおり評定申込事項に係る技術的基準に適合しているものと評定します。

なお、本評定書の有効期間は、本評定日より令和12年9月16日までとします。

令和7年9月17日



記

1. 評定申込事項
本評定は、建築基準法令その他の技術的基準に係る評定の申し込みがなされたものである。
2. 評定の区分
変更
3. 評定をした工法等
別紙1のとおり
4. 評定の内容
(1) 方法
本評定は、コンクリート構造評定委員会(委員長:林静雄)において、申込者から提出された資料に基づき審査を行ったものである。
(2) 審査内容
別紙2のとおり
5. 備考
本評定は、設計・施工・品質管理等が適切に行われることを前提に、提出された資料に基づいて行ったものであり、個々の工事等の実施過程及び実施結果の適切性は評定の範囲に含まれていない。
また、本評定は申込者による自主管理方法について行われたものであり、受入れに際しては、工事管(監)理者の判断による受入検査が行われることを前提としている。

1 / 4

二方向床版評定書

本工法は、伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社による一方向トラス構成の組立鉄筋に自動溶接された格子状二重配筋を構成するファブ鉄筋と亜鉛メッキ鋼板の型枠からなる配筋・型枠一体製造施工工法(以下、ファブデッキ工法という)の設計、製造および施工に関する一般評定である。

タイプ (単位)	縦筋@150タイプ (P型)	縦筋@200タイプ (N型)
縦筋間隔 Pw(mm)	150	200
横筋間隔 PL(mm)	200	200
トラス高さ H (mm)	80、95、110、125	90、100、110、120、130、140、150、160、170、180、190、200
長さ L (mm)	最大10,000	最大10,600
幅 W (mm)	最大2,250	最大2,000

評 定 書 (工法等)

申込者 伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社 代表取締役社長 田中 康博 様

件 名 ファブデッキ工法(二方向床版)

令和7年3月24日付けで評定の申し込みのあった本件については、下記のとおり評定申込事項に係る技術的基準に適合しているものと評定します。

なお、本評定書の有効期間は、本評定日より令和12年9月16日までとします。

令和7年9月17日



記

1. 評定申込事項
本評定は、建築基準法令その他の技術的基準に係る評定の申し込みがなされたものである。
2. 評定の区分
変更
3. 評定をした工法等
別紙1のとおり
4. 評定の内容
(1) 方法
本評定は、コンクリート構造評定委員会(委員長:林静雄)において、申込者から提出された資料に基づき審査を行ったものである。
(2) 審査内容
別紙2のとおり
5. 備考
本評定は、設計・施工・品質管理等が適切に行われることを前提に、提出された資料に基づいて行ったものであり、個々の工事等の実施過程及び実施結果の適切性は評定の範囲に含まれていない。
また、本評定は申込者による自主管理方法について行われたものであり、受入れに際しては、工事管(監)理者の判断による受入検査が行われることを前提としている。

1 / 4

早見表 P型（縦筋@150）上端筋×下端筋/D10×D10（施工時の使用限界スパン）

D-10 5φ H-80	スラブ厚さ (mm)		120	125	130	135	140	145	150	155
	施工時荷重 (N/m ²)		4,620	4,740	4,860	4,980	5,100	5,220	5,340	5,460
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	2,620	2,600	2,580	2,560	2,540	2,520	2,500	2,470
		連 続 梁 用 法	2,870	2,800	2,730	2,670	2,600	2,540	2,490	2,430
		中間仮設支持	2,870	2,800	2,730	2,670	2,600	2,540	2,490	2,430

D-10 5φ H-95	スラブ厚さ (mm)		135	140	145	150	155	160	165	170
	施工時荷重 (N/m ²)		4,980	5,100	5,220	5,340	5,460	5,580	5,700	5,820
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	2,890	2,870	2,850	2,830	2,800	2,770	2,740	2,710
		連 続 梁 用 法	2,760	2,700	2,640	2,580	2,520	2,470	2,410	2,360
		中間仮設支持	2,760	2,700	2,640	2,580	2,520	2,470	2,410	2,360

D-10 6φ H-80	スラブ厚さ (mm)		120	125	130	135	140	145	150	155
	施工時荷重 (N/m ²)		4,620	4,740	4,860	4,980	5,100	5,220	5,340	5,460
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	2,660	2,640	2,620	2,590	2,570	2,550	2,540	2,500
		連 続 梁 用 法	3,010	2,940	2,860	2,800	2,730	2,670	2,610	2,540
		中間仮設支持	3,010	2,940	2,860	2,800	2,730	2,670	2,610	2,540

D-10 6φ H-95	スラブ厚さ (mm)		135	140	145	150	155	160	165	170
	施工時荷重 (N/m ²)		4,980	5,100	5,220	5,340	5,460	5,580	5,700	5,820
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	2,880	2,860	2,840	2,820	2,790	2,760	2,740	2,700
		連 続 梁 用 法	3,340	3,260	3,190	3,120	3,050	2,980	2,920	2,850
		中間仮設支持	3,340	3,260	3,190	3,120	3,050	2,980	2,920	2,850

D-10 6φ H-110	スラブ厚さ (mm)		150	155	160	165	170	175	180	185
	施工時荷重 (N/m ²)		5,340	5,460	5,580	5,700	5,820	5,940	6,060	6,180
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,190	3,160	3,130	3,100	3,070	3,040	3,020	2,980
		連 続 梁 用 法	3,510	3,470	3,430	3,390	3,360	3,330	3,290	3,260
		中間仮設支持	3,510	3,470	3,430	3,390	3,360	3,330	3,290	3,260

D-10 6φ H-125	スラブ厚さ (mm)		165	170	175	180	185	190	195	200
	施工時荷重 (N/m ²)		5,700	5,820	5,940	6,060	6,180	6,300	6,420	6,540
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,280	3,250	3,220	3,190	3,170	3,140	3,120	3,080
		連 続 梁 用 法	3,640	3,600	3,570	3,530	3,500	3,460	3,430	3,400
		中間仮設支持	3,640	3,600	3,570	3,530	3,500	3,460	3,430	3,400

※作業荷重 1500N / m²を含む

※上記の数値は実験値を元に二方向・一方向タイプの小さい値を表記しております。最大の使用限界スパンは別途計算式にて決定させていただきます。

早見表 N型(縦筋@200)上端筋×下端筋／D13×D13(施工時の使用限界スパン)

H-90 6φ	スラブ厚さ (mm)	130	135	140	145	150	155	160	165	170
	施工時荷重 (N/m ²)	4,860	4,980	5,100	5,220	5,340	5,460	5,580	5,700	5,820
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	2,807	2,784	2,762	2,741	2,720	2,693	2,667	2,617
		連 続 梁 用 法	3,654	3,566	3,482	3,402	3,325	3,252	3,182	3,115
		中間仮設支持	3,654	3,566	3,482	3,402	3,325	3,252	3,182	3,115

H-100 6φ	スラブ厚さ (mm)	140	145	150	155	160	165	170	175	180
	施工時荷重 (N/m ²)	5,100	5,220	5,340	5,460	5,580	5,700	5,820	5,940	6,060
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,046	3,022	3,000	2,971	2,941	2,913	2,886	2,834
		連 続 梁 用 法	3,576	3,494	3,415	3,340	3,268	3,200	3,134	3,009
		中間仮設支持	3,576	3,494	3,415	3,340	3,268	3,200	3,134	3,009

H-110 6φ	スラブ厚さ (mm)	150	155	160	165	170	175	180	185	190
	施工時荷重 (N/m ²)	5,340	5,460	5,580	5,700	5,820	5,940	6,060	6,180	6,300
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,128	3,097	3,066	3,037	3,008	2,981	2,954	2,905
		連 続 梁 用 法	3,475	3,399	3,326	3,256	3,189	3,124	3,062	2,946
		中間仮設支持	3,475	3,399	3,326	3,256	3,189	3,124	3,062	2,946

H-120 6φ	スラブ厚さ (mm)	160	165	170	175	180	185	190	195	200
	施工時荷重 (N/m ²)	5,580	5,700	5,820	5,940	6,060	6,180	6,300	6,420	6,540
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,182	3,152	3,122	3,094	3,067	3,040	3,014	2,990
		連 続 梁 用 法	3,268	3,200	3,134	3,070	3,009	2,951	2,895	2,788
		中間仮設支持	3,268	3,200	3,134	3,070	3,009	2,951	2,895	2,788

H-130 6φ	スラブ厚さ (mm)	170	175	180	185	190	195	200	205	210
	施工時荷重 (N/m ²)	5,820	5,940	6,060	6,180	6,300	6,420	6,540	6,660	6,780
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,238	3,209	3,179	3,152	3,125	3,100	3,075	3,028
		連 続 梁 用 法	3,079	3,016	2,957	2,899	2,844	2,791	2,740	2,643
		中間仮設支持	3,079	3,016	2,957	2,899	2,844	2,791	2,740	2,643

H-140 6φ	スラブ厚さ (mm)	180	185	190	195	200	205	210	215	220
	施工時荷重 (N/m ²)	6,060	6,180	6,300	6,420	6,540	6,660	6,780	6,900	7,020
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,180	3,149	3,119	3,089	3,061	3,033	3,006	2,954
		連 続 梁 用 法	2,877	2,822	2,768	2,716	2,666	2,618	2,572	2,484
		中間仮設支持	2,877	2,822	2,768	2,716	2,666	2,618	2,572	2,484

H-90 7φ	スラブ厚さ (mm)	130	135	140	145	150	155	160	165	170
	施工時荷重 (N/m ²)	4,860	4,980	5,100	5,220	5,340	5,460	5,580	5,700	5,820
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	2,944	2,921	2,898	2,876	2,853	2,826	2,798	2,745
		連 続 梁 用 法	3,718	3,673	3,630	3,588	3,547	3,508	3,470	3,398
		中間仮設支持	3,718	3,673	3,630	3,588	3,547	3,508	3,470	3,398

H-100 7φ	スラブ厚さ (mm)	140	145	150	155	160	165	170	175	180
	施工時荷重 (N/m ²)	5,100	5,220	5,340	5,460	5,580	5,700	5,820	5,940	6,060
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,083	3,059	3,035	3,006	2,976	2,947	2,920	2,868
		連 続 梁 用 法	3,861	3,817	3,773	3,732	3,691	3,652	3,614	3,542
		中間仮設支持	3,861	3,817	3,773	3,732	3,691	3,652	3,614	3,542

H-110 7φ	スラブ厚さ (mm)	150	155	160	165	170	175	180	185	190
	施工時荷重 (N/m ²)	5,340	5,460	5,580	5,700	5,820	5,940	6,060	6,180	6,300
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,167	3,136	3,104	3,075	3,046	3,018	2,991	2,940
		連 続 梁 用 法	3,987	3,943	3,900	3,859	3,819	3,780	3,742	3,670
		中間仮設支持	3,987	3,943	3,900	3,859	3,819	3,780	3,742	3,670

※作業荷重 1500N／㎡を含む

※上記の数値は実験値を元に二方向・一方向タイプの小さい値を表記しております。最大の使用限界スパンは別途計算式にて決定させていただきます。

※ N 型上端筋 D10×下端筋 D10 タイプをご検討の場合は弊社までご連絡ください。

H-120 7φ	スラブ厚さ (mm)	160	165	170	175	180	185	190	195	200
	施工時荷重 (N/m ²)	5,580	5,700	5,820	5,940	6,060	6,180	6,300	6,420	6,540
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,227	3,196	3,167	3,138	3,110	3,083	3,057	3,032
		連 続 梁 用 法	4,098	4,055	4,013	3,972	3,933	3,894	3,857	3,821
		中間仮設支持	4,098	4,055	4,013	3,972	3,933	3,894	3,857	3,821

H-130 7φ	スラブ厚さ (mm)	170	175	180	185	190	195	200	205	210
	施工時荷重 (N/m ²)	5,820	5,940	6,060	6,180	6,300	6,420	6,540	6,660	6,780
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,324	3,293	3,264	3,236	3,209	3,183	3,157	3,132
		連 続 梁 用 法	4,094	4,052	4,012	3,973	3,935	3,898	3,862	3,827
		中間仮設支持	4,094	4,052	4,012	3,973	3,935	3,898	3,862	3,827

H-140 7φ	スラブ厚さ (mm)	180	185	190	195	200	205	210	215	220
	施工時荷重 (N/m ²)	6,060	6,180	6,300	6,420	6,540	6,660	6,780	6,900	7,020
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,404	3,376	3,347	3,319	3,292	3,267	3,242	3,218
		連 続 梁 用 法	4,092	4,053	4,014	3,976	3,939	3,904	3,869	3,835
		中間仮設支持	4,092	4,053	4,014	3,976	3,939	3,904	3,869	3,835

H-150 7φ	スラブ厚さ (mm)	190	195	200	205	210	215	220	225	230
	施工時荷重 (N/m ²)	6,300	6,420	6,540	6,660	6,780	6,900	7,020	7,140	7,260
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,452	3,425	3,397	3,370	3,345	3,320	3,296	3,272
		連 続 梁 用 法	3,901	3,865	3,829	3,794	3,761	3,728	3,696	3,665
		中間仮設支持	3,901	3,865	3,829	3,794	3,761	3,728	3,696	3,665

H-160 7φ	スラブ厚さ (mm)	200	205	210	215	220	225	230	235	240
	施工時荷重 (N/m ²)	6,540	6,660	6,780	6,900	7,020	7,140	7,260	7,380	7,500
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,499	3,471	3,445	3,419	3,394	3,370	3,346	3,324
		連 続 梁 用 法	3,716	3,682	3,649	3,617	3,586	3,556	3,526	3,498
		中間仮設支持	3,716	3,682	3,649	3,617	3,586	3,556	3,526	3,498

H-170 7φ	スラブ厚さ (mm)	210	215	220	225	230	235	240	245	250
	施工時荷重 (N/m ²)	6,780	6,900	7,020	7,140	7,260	7,380	7,500	7,620	7,740
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,539	3,512	3,487	3,462	3,438	3,414	3,391	3,369
		連 続 梁 用 法	3,638	3,606	3,575	3,545	3,516	3,468	3,413	3,359
		中間仮設支持	3,638	3,606	3,575	3,545	3,516	3,468	3,413	3,359

H-180 7φ	スラブ厚さ (mm)	220	225	230	235	240	245	250	255	260
	施工時荷重 (N/m ²)	7,020	7,140	7,260	7,380	7,500	7,620	7,740	7,860	7,980
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,537	3,511	3,486	3,463	3,440	3,417	3,395	3,371
		連 続 梁 用 法	3,509	3,450	3,393	3,338	3,285	3,233	3,183	3,134
		中間仮設支持	3,509	3,450	3,393	3,338	3,285	3,233	3,183	3,134

H-190 7φ	スラブ厚さ (mm)	230	235	240	245	250	255	260	265	270
	施工時荷重 (N/m ²)	7,260	7,380	7,500	7,620	7,740	7,860	7,980	8,100	8,220
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,424	3,396	3,369	3,343	3,317	3,291	3,266	3,242
		連 続 梁 用 法	3,195	3,143	3,093	3,044	2,997	2,951	2,907	2,864
		中間仮設支持	3,195	3,143	3,093	3,044	2,997	2,951	2,907	2,864

H-200 7φ	スラブ厚さ (mm)	240	245	250	255	260	265	270	275	280
	施工時荷重 (N/m ²)	7,500	7,620	7,740	7,860	7,980	8,100	8,220	8,340	8,460
	施工スパン (mm)	単 純 梁 用 法	3,285	3,259	3,234	3,209	3,185	3,161	3,138	3,115
		連 続 梁 用 法	2,901	2,855	2,811	2,768	2,726	2,686	2,647	2,609
		中間仮設支持	2,901	2,855	2,811	2,768	2,726	2,686	2,647	2,609

※作業荷重 1500N / m²を含む

※上記の数値は実験値を元に二方向・一方向タイプの小さい値を表記しております。最大の使用限界スパンは別途計算式にて決定させていただきます。

伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社

ISO14001 認証取得

伊藤忠丸紅住商テクノスチール ホームページ : <http://www.imsts.co.jp/>

■ 本社・支店一覧

			TEL.	FAX.
◎ 東京本社	〒100-0004	東京都千代田区大手町1丁目6番1号 大手町ビル8F	03-6266-8231	03-6266-8253
北海道支社	〒060-0051	札幌市中央区南1条東1丁目 大通りバスセンタービル1号館7F	011-212-2026	011-212-2150
東北支社	〒980-0021	仙台市青葉区中央4-10-3 仙台キャピタルタワー	022-267-1691	022-224-6023
新潟支店	〒950-0087	新潟市中央区東大通1-7-7 IMAⅢビル5F	025-245-4412	025-245-4419
名古屋支社	〒460-0003	名古屋市中区錦2-2-2 名古屋丸紅ビル11F	052-203-6061	052-203-6060
北陸支店	〒930-0004	富山市桜橋通2-25 第一生命ビル4F	076-441-1445	076-442-3340
◎ 関西支社	〒530-0005	大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル4F	06-4803-8518	06-4803-8599
中国支店	〒730-0031	広島市中区紙屋町1-3-2 銀泉広島ビル	082-247-4076	082-247-4093
四国支店	〒760-0017	高松市番町1-6-8 高松興銀ビル8F	087-823-7101	087-823-7108
◎ 九州支社	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前1-2-5 紙与博多ビル3F	092-483-7273	092-483-7283
沖縄営業所	〒900-0015	那覇市久茂地3-21-1 國場ビル12F	098-866-5488	098-943-8292

※ファブデッキ床版についての詳細は、◎印の事務所にお問い合わせください。

■ 協力工場／製造タイプ

北越メタル(株)雲出工場	〒940-2045	新潟県長岡市西陵町221-31 [P型(D10/H=80~125) N型(D10・D13/H=90~200)]
井河原産業(株)佐用工場	〒679-5141	兵庫県佐用郡佐用町広山1番地 [P型(D10/H=80~125)]
FDテクノ(株)若宮工場	〒822-0144	福岡県宮若市稲光800 [P型(D10/H=80~125)]
FDテクノ(株)関東工場	〒270-1406	千葉県白井市中98番地9 [P型(D10/H=80~125)]